

リオ出場の大西瞳さんにスポーツ栄誉章

11月24日、リオデジャネイロで行われたパラリンピック陸上で入賞を果たした大西瞳さんが田中区長を表敬訪問しました。区からは、この度の活躍に対し、「スポーツ栄誉章」を授与しました。

杉並区在住の大西瞳さんは、2000年に疾病のため右大腿部を切断し、義足での生活となりました。陸上競技に取り組むきっかけは義肢装具士から言われた「走れるようになると綺麗に歩けるようになるよ」の一言だったそうです。そして、切断者のスポーツクラブ「ヘルスエンジェルス」のメンバーとして練習を楽しむことで、それまで隠してきた義足のことも、いつしか気にならなくなり、走ることで障害を乗り越えることができたと話します。

大西さんは、9月10日に行われたT42クラス（片大腿切断など）女子走り幅跳びで、3m58cmの記録し6位入賞。さらに、9月17日の同クラス女子100mに出場し、17秒51の記録で8位入賞を果たしました。



24日午後3時50分、区役所1階ロビーには、大西さんの来庁を出迎える区民や職員が200名ほど集まりました。大西さんからは、「多くの声援をありがとうございました。」と笑顔であいさつしました。

その後、大西さんは区長を表敬訪問。大西さんは、「リオにいた時は、会場を埋め尽くす観客と大きな声援に、ただただ楽しいと思っていました。帰国して、時間が経つと自分が本当に素晴らしい舞台に立ったのだという実感が湧いてきました。東京は地元開催でもあり、ぜひ出たいという気持ちですが、パラリンピックのレベルはどんどん上がっている。これまでの練習ではメダルどころか選手に選ばれることもできないので、さらに努力を続けたい。」と話しました。

[問い合わせ先]

教育委員会事務局スポーツ振興課 3312-2111 内線1671